

承認番号	2727
研究課題名	円板状半月に対する術前術後の離断性骨軟骨炎の発生頻度の調査
研究の意義・目的	若年者円板状半月はその半月板形態は様々であり、さらに離断性骨軟骨炎を合併することもしばしばである。その病態の詳細な検討は皆無であり、若年者に限った離断性骨軟骨炎合併頻度の報告はない。また円板状半月に対する手術として、不安定な部分を切除する亜全摘あるいは部分切除が推奨されており、その術後成績は良好とされているが、切除範囲に対する研究は少ない。また、術後しばしば離断性骨軟骨炎を発生することがあるが、切除範囲と離断性骨軟骨炎の発生に関する研究は皆無である。今回の研究では若年者円板状半月に対して離断性骨軟骨炎合併頻度、年齢分布とMRIによる半月形態との関係、円板状半月手術後の離断性骨軟骨炎発生の特徴、手術方法による発生率の差を調査することである。
研究期間	倫理委員会承認後～2019年11月30日(西暦)
研究対象者の範囲	2004年1月1日～2017年11月30日に大阪市立大学医学部附属病院整形外科で、膝疾患の診断、治療のため受診された入院、通院患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	診療記録、単純レントゲン、MRI
利用者の範囲	得られた情報は自施設のみで利用します。これには、あなたの性別、生年月日も含まれますが、カルテ番号、氏名、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は含まれません。情報の集計に際してはプライバシー保護のため、個人が特定できない情報に置き換えて対応し、結果を公表する場合も個人名が出ることはありません。
研究機関の情報	(該当しません)
代表施設のURL	(該当しません)
試料・情報を公表する方法	国内外の整形外科領域を中心とした学術集会や学術誌にて報告することで情報を公開します。この時、個人情報特定される事はありません。
試料・情報の提供方法	(該当しません)
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学医学部附属病院 整形外科 橋本祐介
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	研究組織：大阪市立大学医学部附属病院 整形外科 住所：545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7 電話：06-6645-2121 研究代表者：橋本祐介